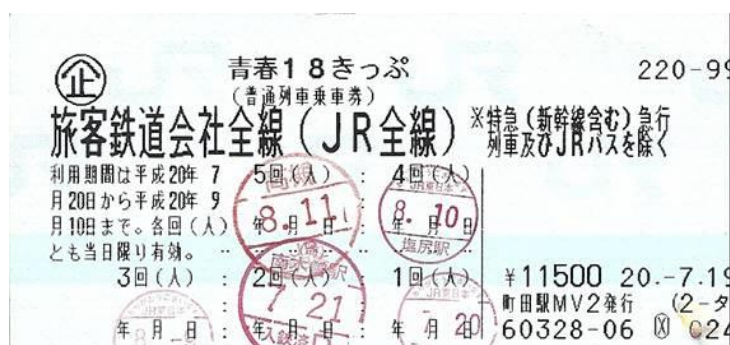


第6章 中央本線（塩尻～木曾福島）

第1節 旅プラン

第239回～第241回のウォーキングは、夏季休暇の一部（2008年8月9日（土）～11日（月））と青春18切符を活用して、下記の日程で中央本線と東海道本線の鉄道つたい歩きに挑戦する。天気予報を確認し、8月6日（水）にウォーキングコースと宿泊先を決める。なお、2泊3日のウォーキングは今回が初めてとなる。



- ① 8月9日（土）
塩尻まで行き、塩尻駅から蕨原駅までの鉄道 27.7Kmをつたい歩きする。
蕨原駅から電車で塩尻駅に戻り、駅前のホテル中村屋に宿泊する。
- ② 8月10日（日）
電車で蕨原駅まで行き、蕨原駅から木曾福島駅までの鉄道 14Kmをつたい歩きする。
木曾福島から京都まで電車で移動し、五条烏丸東横インに宿泊する。
- ③ 8月11日（月） → 東海道本線のため記載割愛
早朝京都市内のジョギングと京都駅から高槻駅までの鉄道 21.6Kmのつたい歩き。
高槻駅から高松駅までJRを利用して帰り、そこから琴電に乗り継いで実家に帰る。

第2節 1日目：8月9日（土）：塩尻～蕨原 晴れ

塩尻(9:58)～洗馬(せば)～日出塩(11:40)～贅川(にえかわ、13:55)～木曾平沢(15:48)～奈良井(16:20)～蕨原(18:06)

2008年8月9日（土）、4時に起床し、前回と同じ電車で八王子に向かう。ただし、今回は八王子6時35分発の松本行きで塩尻まで移動する。日野春駅と富士見駅で特急電車の通過待ちがある。昨夜はオリンピック開会式のセレモニーやウォーキング準備のため、就寝が深夜1時頃となる。それで寝不足もあり塩尻まではうとうとして車中を過ごす。



塩尻駅 木曽福島に向けて

塩尻駅には予定の9時58分より数分遅れて到着する。塩尻駅は松本までのつたい歩きで踏破した駅であるが、下車するのは初めてなので駅前の風景が全く異なっていたように見えた。狭いが待合室もあったし立ち食い蕎麦屋もあった。駅舎の中の女性トイレ前には長蛇の列ができていた。駅前で本日宿泊するホテル中村屋を確認してから、藪原に向かって歩く。歩き開始は10時10分となる。本日は朝から日差しがきついため、雨傘と手袋を着用してのウォーキングとなる。サングラスの取り出しがまずく破損し、利用するに際し神経を費やす。更に、後で気づくのであるが万歩計もロストするという悪条件が重なる。塩尻駅から第1仲仙道踏切（10時39分：JR東海）まで鉄道の直ぐ右側を歩く。鉄道に沿ってぶどう園や桃園があった。国道19号線にあるやまと園では桃・ぶどう・りんご・とうもろこし等の販売看板があった。

名古屋まで176Kmの看板前を11時10分通過。JR線が道路の下をくぐる。この近郊は複線であった。JR線の左側となる。地図等で確認したところ、ここから少し行った先に洗馬（せば）駅があったが、この駅は勉強不足でクリアできず。本シリーズ落合川駅に続き2度目の失敗である。帰りの電車で確認したところ道路から相当下のところに洗馬駅があった。そのため見逃すのも止むを得ずと自分に言い聞かせる。洗馬駅が時間の関係からそろそろあると思い国道19号線から離れ、町道に入るが洗馬駅は見当たらず。11時16分宗賀派出所前を通過。11時25分、国道19号線に戻る。名古屋164Km、木曽38Kmの看板があった。その近くに弥次喜多やラーメン吉田屋の食事処があった。この食事処は大型トラックが複数止まれる位駐車場が充実していた。11時34分、尾沢橋を万歩計で測定しようとしたところ、万歩計のロストに気づく。これで残念ながら木曽福島から中津川までの木曽路に加え、塩尻から木曽福島までも万歩計で測定することは不可能となる。これまでウォーキングは239回となるが、色んなトラブルと向き合ってきた。中でも最大なトラブルは垂井駅での財布・青春18切符ロストである。これも「不測の事態を大いに楽しむ」というウォーキングの醍醐味のひとつかも知れない。



中山道本山宿

日出塩駅

11時40分、塩尻市牧野を通過。12時、鴨が涼しそうに泳いでいる直径30m位の池があった。日出塩（ひでしお）駅がそろそろと思い、町道に入る。その先に中仙道本山宿の看板があった。その隣に非常に小さい秋葉神社があった。しかし、中々日出塩駅には到達できず。人に現在位置を確認しようと思い通行人を探したが、暑い日差しのため人影見当たらず。やっと年輩の女性に出会い、日出塩駅への道筋をお尋ねする。国道を出た先を真っ直ぐ行った先にあるとの情報を頂く。「まだまだ距離はあります」と云われる。ここで残念ながら自動的に洗馬駅が通り過ぎたことを知る。日出塩駅には12時37分到着。この近郊はJR線の左側は高台になっており、墓地が線路に沿ってあった。高台の方から駅には行く道が近くに見つからなかったため、止むを得ず高台の方から端折って駅舎を撮る。



人里のない路

贄川駅

ここから贄川（にえかわ）駅まで民家が国道にない山道を暫く歩く。12時45分、JR線の右側となる。ここでもJR線が道路下を潜っていた。13時25分、塩尻市贄川を通過。13時34分、奈良井宿まで8Kmの看板前を通過。お茶が切れたため、自動販売機を探すが見当たらず。この近郊のJR線はトンネル内にあった。贄川駅近郊でトンネルからJR線が現れる。木曾川も絡み地形が複雑になっていた。自動販売機が見えた先に贄川駅（13時55分）があった。この駅前の関所亭（14時）で遅い昼食を摂る。ここで25分程度休息する。遅い昼食時間帯でもあり、店には誰もいなかった。天井が高くエアコンのない店舗であった。時間を要したが、とても美味しい蕎麦であった。2歳位の男児

がいる若いカップルの店であった。精算の際、奈良井と蕨原との行き方を尋ねる。「19号線のコースもあるが長いトンネルが続くため、健康上推奨できないと思います。多くの方は鳥居峠越えで蕨原に行っています。」との説明をお伺いする。それで、気持ちが鳥居峠越えに固まる。



関所亭

蕨川関所

関所亭から少し行った先で、野生猿の群れに会う。数頭の猿が道路沿いの高台から覗き込んでいた。しかし、私とその下の道路を通り過ぎる頃には猿の影は見当たらず。ほっとする。14時52分、名古屋まで163Kmある桃岡を通過。この近郊でJR線の右側となる。国道19号線とJR線は縄を編むように繋がっていた。15時16分、セブンイレブン（木曾川栖川平沢店）に立ち寄りアイスとお茶を購入する。道路標識で木曾平沢駅の案内がセブンイレブン前にある。その道を少し行った先で道路標識を見誤ったと思い国道19号線に戻る。しかし、この選択は誤りと気づく。15時30分、平沢測道橋を通過した際、JR線が前方を大きく横切り右手方向になったからである。先程通った道の間をJR線が続いているのを確認したからである。それで、小道を通り町道に出る。国道から30m位下にあった。町道をくねくねと行った先に木曾平沢駅（15時48分）があった。この駅も駅前には宿場町の様相が漂っていた。



木曾平沢駅

奈良井駅

木曾平沢駅から少し行った先で、車が通れない踏切を越え鉄道の左側にある国道19号線に出る。木曾川を渡る橋の辺りで地元のご婦人の方に奈良井駅と蕨原駅を質問する。「奈良井駅はこの道を真っ直ぐ行った先にあります。蕨原駅は国道ではトンネル越えで大変でしょう。鳥居峠越えがいいと思いますが、熊が出現する恐れがあります。一人では怖いでし

よう。男性の足であれば 1 時間位で峠越えができるでしょう。詳細は鳥居峠近郊で誰かに聞いて下さい。」との回答を得る。それで、取りあえず奈良井駅まで行き、駅員等に詳細を尋ねて今後の対応を考えることにする。奈良井駅の手前で奈良井駅到着の電車と対面する。数分停車している感じであった。少し辺りが暗くなったのか、灯をつけていた。



奈良井駅 奈良井宿

奈良井駅には 16 時 20 分到着。奈良井駅の駅員さんに、蕨原までの道筋と所要時間をお尋ねする。「この道を真っ直ぐ行けば、蕨原駅に行けます。ただし、鳥居峠越えが必要ですが。所要時間は 1 時間半位でしょう。雨は怖いですが、今日は天気で大丈夫でしょう。これからだとまだ行けますよ。」との回答を得て、鳥居峠越えに挑戦する。奈良井駅から 500m 位江戸時代を思わせる情緒豊かな宿場町が続く。先日予約しようと考えた「あぶらや」旅館も駅前通りにあった。沢山の観光客が宿場町通りを散策していた。



奈良井宿

水飲場



16時28分、横水と書いた水飲場があった。16時36分、鎮神社前を通過。この近郊で水播きしていた女性の方に藪原駅への道を再度お尋ねする。「この道を真っ直ぐ行きますと、遊歩道にぶつかります。その遊歩道を通り抜けると、鳥居峠に辿り着きます。その峠を下った先が藪原駅です。」と驚いたような口調での回答を得る。暫く歩くと、鳥居峠まで2.16Kmの看板を目にする。この近郊で地元の人と対面する。それから車1台とバイク1台が私を追い越して行く。



鳥居峠

16時50分位から17時44分まで誰にも対面せず、静寂の中での山上市山下りとなる。暫く歩くとアスファルトがなくなり、草の茂みとなる。草の茂みは100m位続く。そこからは草の茂みから開放され、幅1m位の土・石の遊歩道となる。尾根と尾根の間には3m位の板の橋となる。老朽化したところもあったので用心して渡る。熊が出てきても可笑しくないような静寂が続く。これまでのウォーキングの中で最高のスリルを味わう。景色に酔いしれる余裕など全くなし。所々に鳥居峠までの道のりがあったが、自分の思った距離の2割程度しか進んでいなかった。ウォークマンを聞きながら、焦る気持ちを落ち着かせるよう努力する。鳥居峠には17時18分に到着。峠の少し前に小屋と手を洗えるような水路があった。1枚タオルが小屋の前に干されていた。



熊除けの鐘

鳥居峠に到着するや否や分岐点があり迷う。すなわち、藪原宿と書いた遊歩道と旧国道である。地図を確認してもよくわからなかったが、勘に頼り遊歩道を選定することにする。遊歩道コースには神頼みの熊避けの鐘があった。「熊も人間を怖がっているので、熊避けの

鐘を鳴らして下さい」との警告文書があった。鐘を 3 回鳴らして進む。下り坂は奈良井からの上り坂に比べ、遊歩道の手入れがなされており歩きやすかった。熊が出そうな環境だったので、ウォークマンの歌を口ずさみながら下山する。途中何回か分岐点があり、標識を慎重に見て対応する。基本的には蕨原駅・蕨原宿の方向に進む。鐘も都合 3 回鳴らす。17 時 41 分、遊歩道から一般道に出て胸を撫で下ろす。17 時 44 分、30 歳代の女性に出会いほっとする。思わずこの女性に成功談を話したい気持ちになり、「1 時間位山道で誰にも会わないのは怖いですね。熊に出遭うのではないかと不安でした。やっと安堵しました。」と対話する。それから蕨原駅の方向をお尋ねする。「真っ直ぐ下った先にありますよ。」と。



蕨原駅

ホテル中村屋

坂を下って、線路を潜り、再度線路を潜った先に蕨原駅（18 時 6 分）があった。蕨原駅には小子以外に乗客はいなかった。駅前には鳥居峠への案内板があった。看板や歩道から判断して、鳥居峠への道は奈良井駅からではなく蕨原駅からの方がメインのようであった。運良く松本行き蕨原発 18 時 19 分の電車に乗れる。本日宿泊するホテル中村屋がある塩尻駅（18 時 47 分着）まで移動する。鳥居峠があった山並みのあるトンネル通過に数分要す。本日の鳥居峠越えの功績を自負したい気分になる。それから本日クリアできなかつた洗馬駅の道筋もチェックする。道路と線路が交差した近くに洗馬駅があった。記念に明朝この駅を電車から写真を撮ることにする。塩尻駅からホテルまで数分要する。ホテルには 19 時 5 分到着。このホテルは結婚式場を備えた塩尻では一番いいホテルと思われる。チェックインを済ませ、駅前の中華風ラーメン十四三（テンホームー）で夕食を摂る。久しぶりに大瓶のビールを注文する。とても美味しく頂く。近くのコンビニで焼酎を買い、ホテルにて本日の踏破に祝杯をあげる。その後心地よい眠りにつく。本日の営業キロは 27.7Km、万歩計は 5 万歩とする。



未踏破の洗馬駅

第3節 2日目：8月10日（日）：藪原～木曾福島 晴れ

藪原(8:37)～宮ノ越(10:32)～原野(11:16)～木曾福島(12:53)

二日目は、6時前に起床し本日の作戦を練る。室内にある風呂と2階にあるラジウム温泉に入る。7時少し前に1階のロビーの食堂で朝食を摂る。私以外に2名のお客がいた。ゴルフのために前泊したような感じであった。ホテルを7時半頃出る。塩尻発8時10分の電車で藪原まで移動する。途中洗馬駅で車中から記念写真を撮る。



藪原駅には8時37分に到着する。数名の乗客が下車する。藪原駅前には木祖村史跡鳥居峠登り口の看板があった。この電車が着いてまもなくすると、駅舎の中では老人クラブ主催のラジオ体操が行なわれていた。駅前には旅館勇屋があった。その通りを真っ直ぐ行くと国道19号線にぶつかる。8時51分、その交差点で名古屋まで169km、塩尻まで30kmの道路標識を目にする。少し高台になっている箇所から藪原宿、昨日苦勞して歩いた鳥居峠がある山を背景に写真を撮る。



鳥居峠がある山並み

ここから下り坂となる。9時4分、名古屋140km、中津川70km、木曾14kmの看板を目にする。9時14分、吉田洞門前で10名位の高年生位の年格好のサイクリンググループと対面する。吉田洞門は歩道がトンネルの外にあり歩きやすかった。9時34分、吉田側道橋を通過する。吉田洞門を出てもJR線は以前右手にあったが、川は右手から左手となる。この近郊の標高は887mとあった。第二山吹橋を渡ると全長334mの山吹トンネル(9時40分)となる。このトンネルを出ると第一山吹橋となる。国道に沿って川が何度も蛇行する。また、鉄道も絡み複雑となる。それで、鉄道が左右どちらの方向にあるかを留意して進むことにする。神谷入口交差点では左折すれば伊奈への路(361号)が続いていた。9時49分、塩尻市から木曾町宮ノ越(標高883m)となる。この近郊で名古屋まで137kmとあった。川はいつの間にか左手側となる。9時58分、宮ノ越宿看板前を通過。



吉田洞門 宮ノ越への路



義仲館

ここから国道 19 号を離れ右手に県道 259 号線を進む。10 時、木曾町日義宮ノ越前を通過すると、JR 線が頭上にあった。川は右手に JR 線は左手側となる。本日は真夏のウォーキングにしては午前中であったこともあり。木々や民家の木陰を中心に進むことができる。従って、その分水分の補給を少なくできた。10 時 25 分、宮ノ越駅の反対側に義仲館の案内板があり立ち寄ることにする。木曾川に跨る義仲橋を渡ると直ぐ先に義仲館があった。義仲館前には立派な朝日将軍木曾義仲と巴御前のブロンズ像があった。



木曾川 宮ノ越駅

宮ノ越駅は義仲館から真っ直ぐ 400m 位行った先 (10 時 32 分) にあった。本日第一番目の踏破駅である。駅舎の写真を撮り、県道 259 号に戻る。中山道宮越宿の看板 (10 時 40 分) があった。江戸より 66 里 35 丁、京へ 68 里 22 丁と看板に記されていた。11 時 6 分、第 5 仲仙道踏切を渡り、JR 線の左側となる。JR 線をつたい歩きした先に原野駅 (11 時 16 分) があった。



宮ノ越宿 原野駅

11 時 30 分、馬のマークの木曾っ子小沢という地名で“野ばら”の曲が聞こえてくる。11 時 35 分、国道 19 号線に出る。その先に正沢川 (しょうざわ) があった。この辺りの標高は 843m とあった。その先に木曾福島農業会館 (11 時 40 分) があり、会館前に立派な屋根付の相撲施設があった。11 時 58 分、JR 線が上田跨線橋より左手側になる。JA 共済の看板である「木曾町木曾路のまんなか関所の町」で 12 時となる。12 時 20 分、右手方向に木曾大橋があった。直ぐ先に関町交差点の左手方向には全長 507m ある福島トンネルがあった。トンネルを通らず右手の市街地道路を歩く。



相撲施設



関所門



福島関所



木曾福島への路

12時30分、10m位の高さの大きな茶色の関所門を通る。左手高台部分には福島関所があった。この近郊は上町商店街の看板が記されていた。道路から10数メートルある高台に沿って福島宿高瀬資料館の看板があった。12時43分、本町商店街に到達。この近郊で多数の観光客と対面する。御嶽登山道が右手にあった。木曾福島駅には12時53分到着。洗面所で汗だくのだくのシャツを着替えて、木曾福島駅13時29分発電車で以下の通り京都駅まで移動する。

木曾福島13時29分 → 中津川14時29分

中津川14時39分 → 名古屋15時46分 (セントラルライナー10号)

名古屋16時00分 → 米原17時12分

米原17時19分 → 京都18時12分



木曾福島駅

木曾福島駅前の店で昼食にしたかったが、生憎時間がなくなり駅の売店で菓子パンと牛乳を購入し昼食の代用とする。13時29分の電車に乗り遅れると、青春18切符で乗れる電車は16時9分までないからもある。時間に追われゆっくり福島宿を散策できなかったが止むを得まい。木曾福島から中津川までは2両編成のワンマンカーであった。運良く座れたが、車内は相当混み合っていた。前回、勉強不足でクリアできなかった落合川駅を車内からカメラに収める。この駅は国道19号に出たためクリアできなかった。最初から線路に近づいて歩いていれば落合川はクリアできただろう。この駅をクリアした後、国道に出るコースを選択すべきだった。中津川からは特急車両の6両編成となる。中津川から多治見までは各駅に止まったが、多治見から名古屋までは快速となり、整理券代として310円要す。ゆったりした気分で名古屋まで移動することができた。途中、高蔵寺、千種、金山で停車する。木曾福島から中津川そして名古屋まで昨年から本年にかけて創意工夫と悪戦苦闘によりやっと踏破したので、窓から見える風景は丁度勝利した囲碁や将棋の対局を並べ直す感じで、楽しい移動時間となった。また、名古屋から京都までの移動時間も同様であった。ただし、関ヶ原近郊の垂井付近では、本年3月の財布・青春18切符ロスト事件に関する懐かしい苦い思い出が蘇ってきたが。この季節18時半位まで明るいので、京都まで歩いた箇所への復習ができとてもよかった。そのようなこともあり、5時間程度の移動時間があっという間に過ぎ去る。



未踏破の落合川駅 名古屋駅へ

京都駅に着くや、万歩計をロストしたので、また木曾路・中央線の踏破記念として、京都駅地下街の薬局で万歩計(1,280円)を購入する。京都駅から本日宿泊する五条烏丸の東横インまで歩く。京都は本年6月末以来である。前回も米原＝近江八幡の鉄道つたい歩き後、京都に移動して五条烏丸の東横インで泊まった。第二の故郷の京都は何回訪れてもいいものである。前回も京都駅からホテルまで歩いた。ただし、前回は京都に21時頃なので辺りは真っ暗だった。途中京都タワーや東本願寺があり、前回東本願寺前での若者による集いの記憶が蘇る。本日も多数の観光客と対面する。辺りはまだまだ明るかった。万歩計で2,616歩となる。ホテルには19時到着。チェックインして、近くのCoCo壺番屋でカレーを食べる。夕食後ホテルには20時前に到着。NHK大河ドラマ「篤姫」の放映開始まで

に間に合う。本日は桜田門外の変（大老井伊直弼役は中村梅雀が演じていた）であった。その後テレビ朝日系のコアを見ながら就寝する。本日の営業キロは14Km、万歩計は2万5千歩と見なす。本日も充実した一日であった。明日は京都市内の早朝ジョギングと京都＝高槻間のウォーキングを予定して就寝となる。

第4節 3日目：8月11日（月）：京都～高槻 晴れ

記載割愛

+++++ 大塚国際美術館 H20.8.14(木) +++++

